
有機 化合物！～エステルの加水分解編～

石田杞憂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

有機 化合物！〜エステル加水分解編〜

【Nコード】

N6924D

【作者名】

石田杞憂

【あらすじ】

有機 化合物！シリーズ4作目。今回はかなりハードです。

酢酸グループ社長令嬢酢酸メチルは親戚のニトログリセリン（ダイナマイト）をみれば分かるように少し怒りんぼだ。

「まったく私をこんなところに呼び出したのは誰かしらっ」

そして今酢酸メチルは誰かに呼び出されて学校の屋上に来ている。

と言うのも、酢酸メチルが帰ろうとして下駄箱を開けると、

『屋上に来て欲しい』

と一言書かれた手紙があつたのだ。

そのため、やむを得ず迎えの車^{ジャガー}を待たせ、屋上に来ていた。

しばらくして、

ギギーという錆び付いた金属のこすれあう音。

屋上の扉が開いた音だ。

どうやら相手が来たらしい。

酢酸メチルは怒りのあまり、キツと入り口を睨み付けていたのだが、

「……………あら……………水さんではないですか」

想定外の人物に驚いたような顔を見せた。

そう、無口で大人しい水がいたのだった。

水は財閥「水」のこれもやはり会長令嬢である。

「どうなさりました、水さん」

二人は幼い頃から数多くのパーティーで面識がある。

「……………」

しかし、水のこの性格のため話す事はまずなかった。

「……………喋らなくてはわかりませんわ」

酢酸メチルは水を急かす。

すると、突然水が酢酸メチルの腕を引き寄せた。

「なな、何するのですかつ!!」

「……………いい匂い」

水は酢酸メチルの匂いを幸福そうに嗅ぐ。

そつ、酢酸メチルには芳香性があるのだ。

「や、やめつ」

予想以上に強い力。

普段は勝ち気な酢酸メチルではあるが、予想外の出来事に体が固まっていた。

「……………んふ……………可愛い……………」

妖艶で、淫靡な微笑みだった。

水は酢酸メチルの耳を甘く噛む。

「……………あ…ん……………やめ……………」

そして、水は空いた手で酢酸メチルの体をまさぐり始める。

水の透き通った細い指が体のラインをなぞるように上下する。

「あ……………はう……………ん……………」

今まで体感したことのない、官能的な指使いに酢酸メチルは自然と声を漏らした。

水は酢酸メチルの体をぐつと引き寄せ、自分の唇で酢酸メチルのそれを塞ぐ。

「……………んつ……………んんつ……………」

二人の間で熱い吐息が交わされる。

「……………ん……………ん……………」

控えめに水が声を出す。

初めは抵抗していた酢酸メチルだが次第に、

「ん……………ちゆく……………ん……………」

大人しくなり、積極的に求めるようになっていた。

やはり本能には勝てないのだった。

水は動かしていた手をいったん止め、
今度は服の中へと手を忍ばせる。

それに反応し酢酸メチルは

「ひゃうっ」

と声を漏らす。突然の事に驚いたらしい。

水はゆっくりと下着の中に手を滑らせる。

酢酸メチルの肩がピクンと跳ねた。

水は円を描くようにやさしく、じつくりと尻をなで回した。

だんだんと酢酸メチルの声が切なくなつてゆく。

「あ、あん……………ん……………」

求めるように腰を動かしていた。

そして

水は指先に湿った感覚を覚えた。

そう、酢酸メチルの秘境からメタノールが滴っているのだった。

「う……………でちゃ、う……………メタノール出ちゃう……………」

加速度的に酢酸の下着が濡れていく。

「いやらしいよお……………いやらしいの……………いっぱい……………出てるのお……………」

既に二人の体は半分以上が溶け合っていた。それに伴ってメタノールと酢酸がじわじわと溢れる。

そして遂に水は酢酸メチルに溶け込み、やがて、二人は重なつて一つの酢酸となつた。

屋上にはメタノールで湿った地面と、酢酸がぼつんと残った。

エステルの加水分解編

終わり

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6924d/>

有機 化合物！～エステル加水分解編～

2010年11月11日19時14分発行